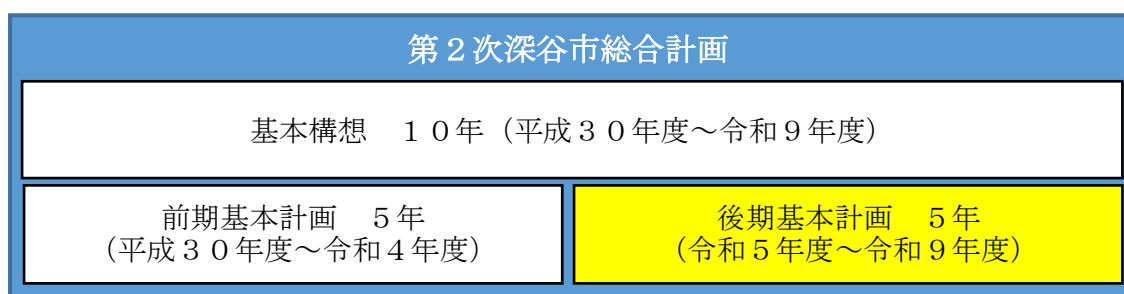


第2次深谷市総合計画 後期基本計画の策定について

1 計画策定の趣旨

深谷市総合計画策定条例に基づき、市政運営の総合的指針として、総合計画を市の最上位計画に位置付け、第2次深谷市総合計画 基本構想（平成30年度～令和9年度）及び前期基本計画（平成30年度～令和4年度）を策定しました。

令和4年度をもって、前期基本計画が終了することから、第2次深谷市総合計画基本構想に基づき、引き続き、将来あるべき姿を具現化するために必要な先導的かつ重点的な取組として定める主要プロジェクトや各種施策を体系的に定めた後期基本計画（令和5年度～令和9年度）を策定します。



2 計画策定にあたっての基本的な考え方

後期基本計画は、基本構想に掲げた「将来都市像」とそれを実現するための「まちのイメージ」を継承しつつ、前期基本計画の進捗状況を踏まえるとともに、市民ニーズや社会状況の変化を的確に捉え、これからのまちづくりに向けた施策を体系的にまとめ策定します。後期基本計画の策定にあたっては、以下の点に留意しながら策定を進めます。

(1) 人口減少・少子高齢社会に対応した計画（総合戦略との統合）

人口減少、東京圏への一極集中の是正を目的とした「深谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を統合し、今後の人口減少、少子高齢社会などの人口構造の変化に対応した計画とします。

(2) 財政状況に対応した実現性・実効性の高い計画

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、財政状況が厳しくなることが予測され、これまで以上に効率的かつ効果的な行政運営が求められることから、行財政改革の推進を図り、実現性・実効性を確保した計画とします。

(3) 渋沢栄一翁を核としたまちづくりを推進する計画

これまで本市において、顕彰してきた栄一翁の功績とその精神を後世へと引き継ぐため、渋沢栄一翁の理念や考えを各施策へ反映し、栄一翁を核としたSDGsの観点をもった持続可能なまちづくりの推進を図る計画とします。

(4) 社会情勢の急速な変化に対応した計画

スマートシティ・Society 5.0、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う新しい生活様式の推進など、大きく変化する社会情勢に、地域コミュニティや人との絆を大切にしつつ、的確かつ柔軟に対応した計画とします。

(5) 重要施策を明確にした計画（主要プロジェクト）

本市の現状や社会状況を踏まえ、前期基本計画同様、先導的かつ重点的に取り組むべき内容を明らかにした計画とします。

3 策定体制

